

# 事務事業実績測定調書

R5調書番号 679

事務事業名称	ホームページ等活用事業											
測定年度	2023(R5)年度				部	市長公室			課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます									
	実行計画名		計画推進1-1.広報・広聴活動の充実									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1997(H9)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	インターネットによる情報収集が可能な人。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	広報紙の発行は月に1回であり、最新情報をリアルタイムでは取得できない。また、ページ数にも限りがあるため詳しい情報を知ることが困難。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	万全なセキュリティ対策とアクセス集中にも耐えうる通信体制が構築され、市ホームページや市公式SNSを閲覧することで緊急情報や市政情報をリアルタイムに収集できる状態。				
事業概要	市政情報全般を随時更新して提供。トップページでは緊急情報や重要な市政ニュース、新着情報、イベント情報などを掲載するとともにバナーを活用して情報の入り口を掲載。市公式SNSを用いて幅広く情報を発信。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市ホームページや市公式SNSを閲覧することで緊急情報や市政情報をリアルタイムに収集できる。				ホームページにて随時市政情報等を発信する。				ホームページによる情報発信を行える環境を整える。			
指標設定	指標説明	市ホームページの年間ユーザー数				新規に作成または更新されたホームページ数				各課ホームページ担当者への研修、頼りになる広報課へのホームページに関する相談の合計			
		単位		件		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	109%				75%				2700%			
ロジックモデル②		市ホームページや市公式SNSを閲覧することで緊急情報や市政情報をリアルタイムに収集できる。				市SNSにて随時市政情報等を発信する。				市SNSによる情報発信を行える環境を整える。			
指標設定②	指標説明	市ホームページの年間ユーザー数				市公式ツイッター・フェイスブック・LINEによる投稿数(自動発信を除く)				各課からの市公式SNS発信依頼件数			
		単位		件		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	109%				155%				182%			

### 3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.80
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	14,143	6,752	6,316		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	14,143	6,752	6,316		
	物件費計	17,218	6,332	7,230	7,331	98.6%
歳出計		31,361	13,084	13,546		
歳入	国庫支出金	0	0	1,726	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	469	439	531	810	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	469	439	2,257	810	
一般財源（物件費に充当されるもの）		16,749	5,893	4,973	6,521	

### 5. 総括的分析

総括的分析	ホームページのユーザー数等を集計するシステム「Googleアナリティクス」のバージョンアップにより、これまでより正確な集計が行われるようになったため、前年度以前との年間ユーザー数比較は困難であるが、各課からの依頼での市公式SNS発信数は増加傾向にあり、市民の知りたい情報を積極的に発信しホームページへの誘導を行った。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	紙面では伝えきれない情報をより見やすく分かりやすくするためにはページの構成やわかりやすい見出しの設定など、今以上に工夫や思考を凝らして制作していく必要がある。各課にも周知し、知りたい情報にしっかりとたどり着けるように引き続き改善を進める。

# 事務事業実績測定調査

R5調書番号 680

事務事業名称	機関紙コンクール等事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます										
	実行計画名											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1976(S51)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	PTA、自治会、サークル団体の広報担当者として機関紙づくりをしている人。			
	サブターゲット	広報所管部署の職員。			
	ターゲットが抱える課題	地域媒体で広報担当になる人の多くは、紙面作りのノウハウがなく、スキルを学び、成果物に関して客観的な評価を得る機会がない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	自治会やPTA、サークルの機関紙の内容が充実し、作成者の広報力と満足度が向上するような広報スキルを学ぶ機会、発表する場がある状態。				
事業概要	①職員が講師となり5月に講習会(1回完結・全3回)を開催。②講習会の成果の発表の場としてコンクールを実施。12月に作品を募集し、1月に審査を実施(審査員は枚方記者クラブ記者や地域情報誌発行者など)。2月に表彰式と審査員による講評、展示会を開催。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		自治会やPTA、サークルの機関紙の内容が充実し、作成者の広報力と満足度が向上出来る。				自治会やPTA、サークルの広報担当者がコンクールに興味を持ち、参加する。				講習会を実施する。			
指標設定	指標説明	コンクール参加者へのアンケートで「参加して大変良かった」「良かった」と答えた人の割合 【算出式:「参加して大変良かった」「良かった」と答えた人の数/コンクール参加者×100】				コンクール参加団体数				講習会参加者数			
		単位		%		単位		団体		単位		人	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	90	90	90	90	45	45	45	45	40	40	40	40
実績	0	0	80	10	0	0	41	31	0	0	25	12	
達成度	11%				69%				30%				

### 3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,964	1,562	1,579		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,964	1,562	1,579		
物件費計	74	110	96	136	70.6%	
歳出計	2,038	1,672	1,675			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	74	110	96	136		

### 5. 総括的分析

総括的分析	令和2・3年度はコロナ禍で実施できなかったが令和5年度は、昨年度に続き対面開催で実施し、講習会には12人、コンクールには31団体が参加した。表彰式後の座談会では、各団体がどのようなソフトを使って機関紙を作成しているか等活発な情報交換が行われ、参加者からは情報共有でき有意義であった等の声をいただいた。その一方で、応募団体の固定化・減少が課題となっており、より効果的・効率的な講習会及びコンクールの実施形態の検討が必要となっている。
-------	---

### 6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	年々、講習会やコンクールへの参加者も減少傾向にあり、団体も固定化している。特に、PTAについては広報紙を作成している学校自体も減っていることなども踏まえ、今後、講習会についてはテキストを市ホームページ等で公開するなどアクセスしやすい形に変更することや、コンクールについても効果的・効率的な実施形態を検討していく。

# 事務事業実績測定調書

R5調書番号 681

事務事業名称	広報ひらかた発行事務												
測定年度	2023(R5)年度				部	市長公室				課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます											
	実行計画名	計画推進1-1.広報・広聴活動の充実											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1951(S26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	広報ひらかたから情報を取得している市民(在住外国人を含む)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	住んでいるまちの情報を定期的・確実に得る手段が必要			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全ての市民(在住外国人を含む)が、毎月の特集や市政ニュース、まちの話題、市民登場、枚方キッチンといったコーナーで、読んで楽しめ、お知らせ面では分類毎の掲載により知りたい情報を見つけやすいよう工夫した冊子から情報を入手できる状態。				
事業概要	A4判の広報紙(48ページを年12回)を月1回発行して全戸配布するとともに、聴覚障害者向けに点字録音版も発行。内容はテーマを持って掘り下げた特集、市政ニュース、安心情報、各種イベントや求人・保険ガイドのお知らせ、まちの話題などをタイムリーに掲載。また、重要課題を分かりやすく情報提供するため、4ページの特集号を必要に応じて年度に1回発行。加えて、アプリの活用により広報紙の多言語対応を行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市民が住んでいるまちの情報を定期的・確実に得ることができる。				広報紙をすべての市民が入手できる。				広報ひらかたを発行する。			
指標設定	指標説明	スマホアンケートで広報ひらかたを「とても読みやすい」「読みやすい」と回答した人の割合 【算出式:「とても読みやすい」「読みやすい」と回答した人数/スマホアンケート回答者数×100】				年間配布部数(通常号のみ)				年間発行回数(通常号のみ)			
		単位		%		単位		部		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	80	80	80	80	2,230,000	2,230,000	2,230,000	2,230,000	12	12	12	12
	実績	94	91	93	93	2,249,639	2,475,900	2,289,200	2,290,800	12	12	12	12
	達成度	116%				103%				100%			

### 3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.70
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	18,071	21,092	21,317		
	会計年度任用職員	829	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	18,900	21,092	21,317		
物件費計	77,725	70,105	92,740	97,636	95.0%	
歳出計	96,625	91,197	114,057			
歳入	国庫支出金	1,146	2,292	2,592	4,516	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	991	1,146	1,296	2,311	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	7,685	7,417	8,932	7,685	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	10,659	10,855	12,820	14,512	
一般財源（物件費に充当されるもの）	67,066	59,250	79,920	83,124		

### 5. 総括的分析

総括的分析	市として強力に情報発信を展開する「子育て・教育」に関する紙面企画「だから、枚方」の掲載を開始したほか、認知症介護や自転車の交通ルール、フードドライブ、能登半島地震に係る支援状況など、市民にとって関心の高いテーマを特集で紹介した。また、夏休み期間の発行となる8月号では、昆虫など市内で見られる生き物にスポットを当てるなど季節感も意識した魅力ある紙面づくりに取り組んだことが、暮らしの中で市民が関心をもつ企画の選択や紙面づくりが評価につながっている。
-------	---

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き市が力を入れる施策や市の魅力を紹介する紙面づくりを行うとともに、市民生活に直結する重要なお知らせを最優先にした紙面構成に取り組む。

# 事務事業実績測定調書

R5調書番号 682

事務事業名称	広報活動及び報道機関対応事務													
測定年度	2023(R5)年度				部	市長公室				課	広報プロモーション課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます											
	実行計画名													

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性		選択的的事业		区分		一般事務事業				
事業期間	1960(S35)年度				年度	～		年度まで					
根拠法令等	決裁												
関係補助金名称							サンセット		～				
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		新聞やテレビなどのマスメディアから情報を得る人。										
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題		特徴がある、あるいは話題となっている市の取り組みを特に知りたいが、広報紙では、すべからく情報が掲載されていてよくわからない。										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	新聞などのマスメディアへの掲載を通じて広く市の取り組み等が市民等に伝わるよう積極的なプレスリリースや報道対応を行っている状態。												
事業概要	①定例記者会見(市長など市幹部が定例議会前の議案説明を中心に市政をPR。年4回実施)②レクチャー(担当部局が市の政策・事業の中で、ニュース性の高いものを随時、記者クラブで説明)③資料提供(説明までは必要のない市政情報を文書で提供)④広報課取材記事の提供(市政のPRとなるもの、地域の話題などを取材して写真と記事を提供)⑤各課に配置した広報担当職員を中心に、広報意識を高めて全庁的な情報発信力の強化を図る。												

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		広く市の取り組み等が市民等に伝わる。				市民が特徴がある、あるいは話題となっている市の取り組みを知る機会が増える。				プレスリリースを実施する。			
指標設定	指標説明	スマホアンケートでメディア等で枚方市関連の記事を見たことがあると答えた人の割合 【枚方市関連の記事を見たことがあると答えた人数/スマホアンケート回答者数×100】				プレスリリースがメディアに取り上げられた件数(延べ)				プレスリリース数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		70	70	70	70	150	150	150	150	200	200	200	200
	57	58	62	64	82	63	66	81	309	197	212	145	
	達成度 91%				54%				73%				

### 3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,786	11,718	11,053		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	11,786	11,718	11,053		
物件費計	3,250	5,155	4,733	6,850	69.1%	
歳出計	15,036	16,873	15,786			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	3,250	5,155	4,733	6,850		

### 5. 総括的分析

総括的分析	枚方記者クラブをはじめとする報道機関に対して、記者会見、プレスリリースなどで適切なタイミングを図って情報を提供した。 情報発信施策推進委員会の取り組みとして、情報発信ガイドライン(スキル編)の作成や全職員向け情報発信研修を実施するなど、全庁的な情報発信力の強化を行った。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	情報発信施策推進委員会の取り組みとして、情報発信ガイドラインを使った研修を実施し情報発信力の強化に向けた取り組みを進める。また、新たに庁内ヨコギン連携で施策をPRするアピール企画を実施する。 全庁的な情報発信力の強化によってメディアへ取り上げられる件数の増加を図り、市の魅力が広く伝わることを目指す。

# 事務事業実績測定調書

R5調書番号 683

事務事業名称	市勢要覧発行事業													
測定年度	2023(R5)年度				部	市長公室				課	広報プロモーション課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます											
	実行計画名													

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市に関して知識のない市外の人。			
	サブターゲット	枚方市に関して知識のない外国人。			
	ターゲットが抱える課題	枚方市の概要について調べることが困難なため、簡潔に知る方法がほしい			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市のことをよく知らない人に対して市の施策や魅力が簡潔に伝わり、本市に興味や関心を持つ機会につながる冊子がある。				
事業概要	*平成28年3月に、市外の人に枚方市の魅力が伝わる内容を目指して全面改訂し、日本語版6000部、英語版、中国語版、韓国・朝鮮語版各1000部の合計9000部を作成。公共施設のほか、ひらかたパークやくずはモールなどの民間施設にも設置した。*報道機関等にも取り上げられたことや、ふるさと寄附金の返礼品への同封などから配布部数がさらに増加し、日本語版を平成28年度に12000部、平成29年度に12000部増刷した。*英語版、中国語版についても、市民の協力を得てフランスや上海のイベントでも配布されたことから平成30年度に英語版1000部、中国語版500部を増刷した。*平成30年度配布分については在庫により対応したため、作成(増刷)部数は外国語版1500部のみとなっている。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)									
	枚方市のことをよく知らない人に対して市の施策や魅力が簡潔に伝わり、本市に興味や関心を持つ機会につながる。	市外の方、および市内外の外国人の方に市の情報を提供できる。	日本語版、および外国語版の市勢要覧を発行する。									
指標設定	指標説明 スマホアンケートで「大変良い」「良い」と答えた人の割合 【算出式:市勢要覧について「大変良い」「良い」と答えた人数/スマホアンケート回答者数×100】	市勢要覧配布部数	市勢要覧発行・増刷部数									
	指標種類 増加することが良いとされる指標	単位 %	単位 冊									
	指標数値 目標(見込み)	単位 冊	単位 冊									
	達成度	単位 %	単位 %									
	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	80	80	80	80	6,000	6,000	6,000	6,000	9,000	5,000	5,000	5,000
実績	15	45	42	37	4,000	5,000	6,000	6,000	0	6,000	6,000	9,000
達成度	46%				100%				180%			

### 3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	4,737		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	4,737		
	物件費計	196	192	2,299	2,299	100.0%
	歳出計	196	192	7,036		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	196	192	2,299	2,299	

### 5. 総括的分析

総括的分析	<p>市内外のイベントなど多様な機会をとらえて来場者等に配布し、市のPRに活用した。</p> <p>また、令和5年度は「関わってくれるだけで心がつながった家族のようなもの」というコンセプトのもと、シティプロモーションに特化したA5サイズの改訂版を9,000部（内訳：日本語版6,000部、英語版・中国語版・ハングル語版を各1,000部）を作成した。表紙・裏表紙のデザインおよび紙面に登場するオリジナルキャラクターは市PR大使で切り絵・絵本作家のたけうちひろさんに制作いただいた。</p>
-------	---

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和7年度開始の大阪・関西万博の機会等もとらえ、引き続き市外向けに配布を行い、市のPRに取り組む。

# 事務事業実績測定調書

R5調書番号 690

事務事業名称	ひらかた便利帳発行事業													
測定年度	2023(R5)年度				部	市長公室				課	広報プロモーション課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます											
	実行計画名													

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事業		区分	一般事務事業				
事業期間	1978(S53)年度			年度	～	年度まで					
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称						サンセット	～				
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		本市に暮らす市民、あるいはこれから暮らす市民。								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		市役所の手続きやごみの出し方、まちの医療機関についてなど、生活するうえで知りたい情報がほしい。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	行政情報だけでなく医療機関の情報など本市で生活するうえで必要な様々な情報を知る方法がある。										
事業概要	転入者に配布できるよう必要に応じ改訂版を増刷するとともに、定期的な全戸配布を目指す。平成2年から平成12年までは隔年全戸配布した。その後は財政面から転入者と希望者に配布。平成19年に市制施行60周年記念として9年ぶりに全戸配布。平成21年、26年にも民間企業と共同で経費を抑えて全戸配布。26年、29年、令和元年発行分については共同発行事業者を公募型プロポーザル方式で選定。										

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		行政情報だけでなく医療機関の情報など本市で生活するうえで必要な様々な情報を知ることができ、満足度が向上する。				市民に全戸配布したうえで、転入者、および希望者に対しても、ひらかた便利帳を配布する。				ひらかた便利帳を発行する。				
指標設定	指標説明	スマホアンケートで便利帳が「とても便利」「便利」と答えた人の割合 【算出式:便利帳が「とても便利」「便利」と答えた人数/スマホアンケート回答者数×100】				ひらかた便利帳配布部数				ひらかた便利帳作成部数				
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)	80	80	80	80	187,000	3,000	3,000	3,000	200,000	0	0	193,000
	実績	88	70	68	67	187,000	3,000	3,000	186,000	200,000	0	0	193,000	
達成度	84%				6200%				100%					

### 3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	4,687	790		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	4,687	790		
物件費計	0	0	933	979	95.3%	
歳出計	0	4,687	1,723			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	933	979		

### 5. 総括的分析

総括的分析	<p>共同発行事業者からの提案を受け、公民連携で令和4年度に2023年版を作成し令和5年6月に全戸配布を行った。また、点字版・録音版についても別途市が作成し、令和5年度中に対象者に配布した。ただし、共同発行事業者からの申し出で、紙代高騰を受けて従来からの発行部数200,000部を維持できなくなったため、193,000部に発行数を減らすこととなった。そのため、改訂時の全戸配布は行いつつ、新たな転入者への配布については、原則電子版での閲覧を案内することとし、紙冊子については希望者のみに配布するよう改めた。</p>
-------	---

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<p>今後、市民課窓口等において、希望する転入者に在庫部数を配布予定。3年ごとの改訂予定だが、今後の発行のあり方については、アンケート等による市民ニーズの把握や費用対効果等を踏まえた検討が必要。</p>

事務事業名称	シティプロモーション推進事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます									
	実行計画名	計画推進1-1.広報・広聴活動の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	内部事務	区分	一般事務事業
事業期間	R4年度(2022年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市民、市内事業者、枚方市と関わりのあるあらゆる世代の人たち			
	サブターゲット	メインターゲットを除く市外在住者			
	ターゲットが抱える課題	枚方市への関心・興味が高くなく、市の魅力が伝わっていない。			
	ターゲットが抱える課題	枚方市に愛着や思い入れはあるが、まちに関する情報が届いていない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民と行政との関わりを深めながら、共に市の魅力を発信することでまちに対する関心が高まり、その関心の高まりがサブターゲットへと波及することで、市内外の幅広い人々に枚方市に対する興味・関心を持たれる。 ひらかたプロデューサーズの取り組みが行政と市民の協働による新たな魅力・賑わいの創出につながるとともに、市民それぞれのネットワークを通じた広範囲な情報の拡散、市の魅力の伝達が行われている。				
事業概要	①枚方市PR大使…枚方市の魅力を情報発信していただき、イメージアップ及び交流人口の拡大を図る。 ②ひこぼしくん…地域資源を活用したキャラクターを活用することにより、市全体のシティプロモーションの推進を図る。 ③枚方市テーマソング関連…歌を通して人のつながりや広がりをつくるとともに、映像を活用しながら枚方市の魅力を発信する。 ④ひらかたプロデューサーズとの取り組みを通して、行政と市民が枚方市のシティプロモーションを一緒に考えることで、協働のまちづくりの機運を高める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	取り組みが市内外に発信され枚方市に対する興味・関心を持つ。				アウトプット (活動結果)	まちの愛着や熱量の増加などにつながる枚方市PR大使や地域との取り組みが、より多くの人たちに枚方市の魅力を伝える。				インプット (活動)	まちの愛着や熱量の増加などにつながる枚方市PR大使や地域との関連イベントなどを実施し、枚方市の魅力をPRする。			
	指標説明	枚方市PR大使やひらかたプロデューサーズ、地域との連携実績(自発的な活動含む)のうち、新聞、テレビなどメディアに取り上げられた件数				枚方市PR大使やひらかたプロデューサーズ、地域との連携イベントに関わった人の総数				まちの愛着や熱量の増加などに向けた「枚方市PR大使」やひらかたプロデューサーズ、地域との連携実績件数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	-	5	5	5	300	300	300	300	11	15	16	16		
	実績	-	26	36	40	213	395	2,919	1,738	26	25	29	10		
達成度	800%				579%				63%						

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		取り組みが市内外に発信され枚方市に対する興味・関心を持つ。				「ひこぼしくん」が民間のイベント等でも活用される。				「ひこぼしくん」のキャラクターを菓子類や包装紙類・キャラクターグッズ販売などの使用を広く推進するとともに、着ぐるみについても各種イベントでの活用などに向けて、情報発信を行う。			
指標設定②	指標説明	枚方市PR大使やひらかたプロデューサーズ、地域との連携実績(自発的な活動含む)のうち、新聞、テレビなどメディアに取り上げられた件数				「ひこぼしくん」のキャラクター及び着ぐるみの貸出件数(庁内外)				枚方の魅力をPRするひこぼしくん公式Twitterのフォロワー数			
		単位 人				単位 件				単位 人			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	-	5	5	5	200	220	230	240	750	1,250	1,500	1,750
実績	-	26	36	40	130	72	76	88	889	1,100	1,295	1,438	
達成度	800%				37%				82%				
ロジックモデル③		取り組みが市内外に発信され枚方市に対する興味・関心を持つ。				枚方市の映像を見ることにより、本市の魅力が伝わり共感する。				枚方市テーマソングなど枚方市の魅力発信となる映像を制作する。			
指標設定③	指標説明	枚方市PR大使やひらかたプロデューサーズ、地域との連携実績(自発的な活動含む)のうち、新聞、テレビなどメディアに取り上げられた件数				Youtube枚方市チャンネル登録者数				Youtube枚方市チャンネルへの映像配信数			
		単位 人				単位 人				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	-	5	5	5	1,500	2,500	3,000	3,500	12	12	12	12
実績	-	26	36	40	4,490	8,120	9,950	10,667	253	103	233	156	
達成度	800%				305%				1300%				

### 3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	21,607	17,560	20,527		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	21,607	17,560	20,527		
	物件費計	652	5,915	3,139	3,331	94.2%
	歳出計	22,259	23,475	23,666		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	46	100	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
		歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	46	100
	一般財源(物件費に充当されるもの)	652	5,915	3,093	3,231	

## 5. 総括的分析

<p>総括的分析</p>	<p>市PR大使については、幅広い年齢層へのアプローチのため、YouTuberやオペラ歌手、俳優など多様な分野で活躍されている市ゆかりの著名人を新たに6組迎え、広報紙企画や市PR冊子で取り扱うなど市の魅力を発信した。市PR冊子「のぞき見枚方」には、昨年同様に市PR大使の森脇健児さんを起用し、市の子育て施策のPR「だから、枚方」と連動させ、市の最先端の教育の現場を実際に体感した様子を掲載し市の魅力を発信した。また、パナソニックバンサーズとコラボしたふるさと納税返礼品は昨年度からパワーアップさせ、体験できる内容を変えて2回実施した。世間に知名度のある市PR大使とコラボした取り組みを積極的に行ったことで、メディアに取り上げられた回数は増加した。</p> <p>ひこぼしくんの活用については、着ぐるみ貸出数とイラストの使用件数が昨年比べて増加した。なかでも庁外利用にかかる新規利用者が見られる等ひこぼしくんの認知度も向上していることがうかがえた。また、ひこぼしくん公式Xに関してはイベント出演時など積極的に投稿したことでフォロワー数が増えた。さらに、「ひこぼしくんがやってくる企画」を新たに実施し、記念日等に個人宅へ訪問して特別な空間の演出をコーディネートしながら、ひこぼしくんと深く関わってもらうことで、ゆるキャラを通じた地域への愛着につなげることができた。</p> <p>市テーマソング「この街が好き」関連事業では、「この歌が好き！枚方カラオケフェスティバル」と題して市民参加型イベントを実施。市PR大使も登場する等約300人の市民が関心を持って参加し、シビックプライドの醸成とともにテーマソングの認知度向上にもつながった。</p>
--------------	--

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
<p>今後の取り組み方針</p>	<p>市PR大使については、市の施策や魅力について発信力を高められるよう、新たに迎えた6組をはじめ、各分野において積極的な活用を図っていく。また、市テーマソングについては、市民へのさらなる周知のため、市内のお祭りや教育現場でも利用されるよう、引き続き働きかけるとともに、動画の作成やイベントでの活用など、市民だけでなく市外への認知にも力を入れて取り組んでいく。ひこぼしくんの活用については、特に子どもや子育て世代に向けた、まちへの愛着向上のためのツールとして、昨年に引き続き、イベント等への積極的な参加や、「ひこぼしくんがやってくる企画」によるふれあい活動等に取り組んでいく。</p>

# 事務事業実績測定調書

R5調書番号 800

事務事業名称	ふるさと寄附金推進事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2016(H28)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	現在市外に住んでいる枚方出身者や枚方にゆかりのある方。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	枚方市に愛着や思い入れがあるにもかかわらず、遠方に住んでいることで故郷との関係性が薄くなっている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	様々な事情で地元を離れざるを得なくなった方も、愛着のある地元へふるさと寄附を通して応援、地域貢献を行うことで繋がりができ、シビックプライドの醸成へつなげている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと寄附金基金担当課、関係課及び返礼品協力事業者との連絡・調整</li> <li>返礼品の開発審査及び決定・返礼品協力事業者の開拓、審査及び決定等</li> <li>業務委託事業者の調査、契約事務</li> <li>ふるさと納税専門ポータルサイトの管理</li> <li>ふるさと寄附金を通じた魅力の発信</li> </ul>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
ロジックモデル		様々な事情で地元を離れざるを得なくなった方も、愛着のある地元へふるさと寄附を通して応援、地域貢献を行うことで繋がりができ、シビックプライドの醸成へつなげる。				枚方市へふるさと寄附がなされる。				枚方市へのふるさと寄附の増加に向けて、ふるさと寄附に関する情報発信を行う。				
指標設定	指標説明	枚方市へのふるさと寄附金額 (ふるさと納税ポータルサイト利用分)				枚方市へのふるさと寄附件数 (ふるさと納税ポータルサイト利用分)				ふるさと寄附に関する情報発信数 (プレスリリース、外部メディアへの掲載)				
		単位 千円				単位 件				単位 回				
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	68,127	73,712	109,000	119,000	3,050	3,300	4,480	4,900	3	4	5	6
達成度	169%				182%				583%					

### 3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.34
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,857	10,937	12,632		
	会計年度任用職員	1,392	716	690		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,249	11,653	13,322		
	物件費計	39,462	68,035	92,336	212,451	43.5%
	歳出計	48,711	79,688	105,658		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	39,462	68,035	92,336	212,451	

### 5. 総括的分析

総括的分析	寄附件数及び寄附金額共に前年度数値・目標数値を上回ったが、市外への流出額との差し引きではマイナスとなっている。引き続き、新たな返礼品の開拓や、新たなポータルサイトの導入など、寄附金額の増加に向けた取り組みが必要。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	新たな返礼品の開拓や新たなポータルサイトの導入、プロモーション活動の実施など、寄附金額の増加に向けた取り組みを進める。

# 事務事業実績測定調書

R5調書番号 847

事務事業名称	広報プロモーション課運営事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	広報プロモーション課職員・職場。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	広報プロモーション課における事業が円滑に執行できない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	広報プロモーション課の各事業等が円滑に執行出来ている状態。				
事業概要	市議会に関する連絡調整。災害時における情報の市ホームページ掲載、報道機関への連絡など広報活動。庁内外への照会・回答処理。財務・会計・契約・文書管理。北河内7市で構成する北河内広報連絡協議会の運営事務等。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
指標設定	指標説明				
	指標種類				
	指標数値	目標 (見込み)			
		実績			
達成度					

### 3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.32
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,857	7,968	7,895		
	会計年度任用職員	0	0	648		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,857	7,968	8,543		
	物件費計	457	1,989	386	480	80.4%
歳出計	8,314	9,957	8,929			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	457	1,989	386	480		

### 5. 総括的分析

総括的分析	広報プロモーション課における行政事務及び庶務事務については、円滑かつ適正に執行した。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	課の運営について円滑かつ適正な処理を行う。